

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成 21 年度採択）

中間評価結果

| 番号 | 研究課題名 | 研究代表者 | 評価 |
|------|---|--------------------|----|
| 21-2 | 地域 ITS 技術を用いた車線・道路幅員減少区間等における安全かつ円滑な走行支援手法の研究開発 | 高知工科大学 教授 熊谷 靖彦 | C |

<研究の概要>

地域の実情を考慮した ITS（地域 ITS）技術を活用し、車線・道路幅員減少区間等における効果的・効率的な走行支援システムの開発を、全国展開を意識しつつ行うとともに、システム導入の評価ツールとして交通シミュレータの開発を行うものである。

<中間評価結果>

研究の進捗や見通しは概ね良好であるが、脳ドックデータに係る検討や研究対象範囲などに課題があり、このままでは当初の研究目標の達成が困難となる恐れがあると判断されるため、特記事項を踏まえた研究を推進するよう、研究計画を修正する必要がある。

<修正内容>

高齢者ドライバーの生理学的な研究と交通工学を結びつけることは重要ではあるが、あまりにも大きな研究課題であるため、脳ドックデータに係る検討については本研究とはっきり区別し、別途の検討課題として取り扱っていただきたい。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 地域 ITS 技術の適用を 1.5 車線の道路整備区間に特化せず、全国により多く存在すると思われる工事規制・違法駐停車等で車線障害がある狭隘区間へ適用するなど、全国展開に繋がる具体的研究項目を追加していただきたい。
2. 最終的には、新しいシステムの適用基準を作り出すことを目標に、コストや性能など、開発の要件を明確にするとともに、誤作動／誤認知の状況確認と対応策の検討の目標と方針を明確にしていきたい。